

現代東北農業における地域区分

堀川 彰

(農研機構 東北農業研究センター)

An agricultural area classification in Tohoku region of recent years

Akira HORIKAWA

(NARO Tohoku Agricultural Research Center)

1 はじめに

「農業地域区分」は、地域農業の分析の一助として、農政等、各種のニーズに応えるべく、種々の手法を用いたものが考案されている。東北地域のそれに関しては、各地域の成立過程を歴史的視点から捉えたものとして、宇佐美繁¹⁾によるものがあり、これが定説とされている。

宇佐美区分では、東北の農業地域は、「稲単作」「稲・果樹複合」「稲・園芸・畜産複合」の主たる三地域と、太平洋側沿岸地域における「(米単作的な)漁業兼業」地域とで構成されている。農業地域を「入会地の耕地化」の過程から捉え、「稲単作」地域については、藩制期における入会谷地での新田開発以来の発展過程から説き、「稲・果樹複合」地域については、入会山(入会原野)において、時代のニーズに応じて桑園等が開発され、養蚕業が衰退した後に、果樹が桑に置き換わるプロセスを述べるなど、各地域の成立過程が具体的に記されており、強い説得力を持つ。加えて、経済指標として、「農業粗生産額に占める米の割合」と「一戸あたり生産農業所得」の二軸平面上に各地域をプロットし、それぞれの地域における当時の状況をも的確に示している。

以上のように、宇佐美区分は、周到適切に構築されており、その為もあって、その後、東北農業の地域区分研究においては、新たな知見が乏しい。

しかしながら、宇佐美区分は1970年代のデータを用いてなされており、30年以上を経た今日においても、なお、その区分が十分な妥当性を持つのかについて、再検討がなされて然るべきと考えられる。

本研究は、2010年の農業センサスデータを用いて、耕地利用と家畜(肉牛・乳牛)飼養の実態から、東北6県の市町村を類型区分してマッピングで可視化し、宇佐美区分との整合性を検討しつつ、現代における東北農業の地域区分を試みることを主たる目的とし、加えて、水田作地域として抽出された地域における近年の耕地利用形態に著明な変化の見られる地域の抽出を試みる。

2 方法

2010年(および2005年)農業センサスの県別統計書の

農業経営体のデータを、2000年時点での市町村毎に分割し、以下の6つの地域に分類する。

1. 水田作地域: 水田率が80%以上
2. 畑作地域: 畑地率が30%以上
3. 果樹作地域: 樹園地率が10%以上
4. 畜産(肉牛)地域: 肉牛飼養経営体率が10%以上
5. 畜産(乳牛)地域: 乳牛飼養経営体率が10%以上
6. 上記区分に該当しない地域

なお、耕地に関しては、樹園地率が10%以上であれば、水田率が80%以上であっても「果樹作地域」とし、肉牛または乳牛飼養経営体率が10%以上であれば、耕地利用の如何を問わず「畜産地域」とした。この両者に関しては、肉牛と乳牛との飼養経営体数の多い方に分類した。

3 結果と考察

上記の分類に従い、2010年センサスデータを用いて、東北各県の地域区分をマッピングしたものを図1～図6に示す(集計単位は2000年時の市町村。凡例は図1右側)。

宇佐美区分における「稲・果樹複合」の三地域は、図上で果樹作地域として面的に認められ、「水田面積率の圧倒的に高い稲単作地域の中に、宮城県北部、岩手県北上川下流を先頭にした一大畜産部門の形成がみられる」との指摘も、図2及び図3で傍証され、「稲作・園芸・畜産複合地域」とされた地域は、殆どが畜産(肉牛)地域または畑作地域として示されており、経済指標を導入しない、耕地利用と家畜(牛)飼養実態のみを用いたマッピングからでも、宇佐美区分は今日なお、東北農業の基本構造を示す、有効な地域区分であることが分かる。

また、水田作地域(2010年時に水田率80%以上であった地域とし、家畜飼養の如何を問わない)での耕地利用上の変化としては、2005年から2010年にかけて「田の利用形態」において、特に宮城県で、「稲以外の作物のみ」の作付面積の増加が顕著(37%増)であり、大豆や飼料用作物等の作付面積の増加がその背景となっている。

引用文献

- 1)宇佐美繁. 2005. 『宇佐美繁著作集Ⅲ 農業生産力展開と地帯構成』. 筑波書房

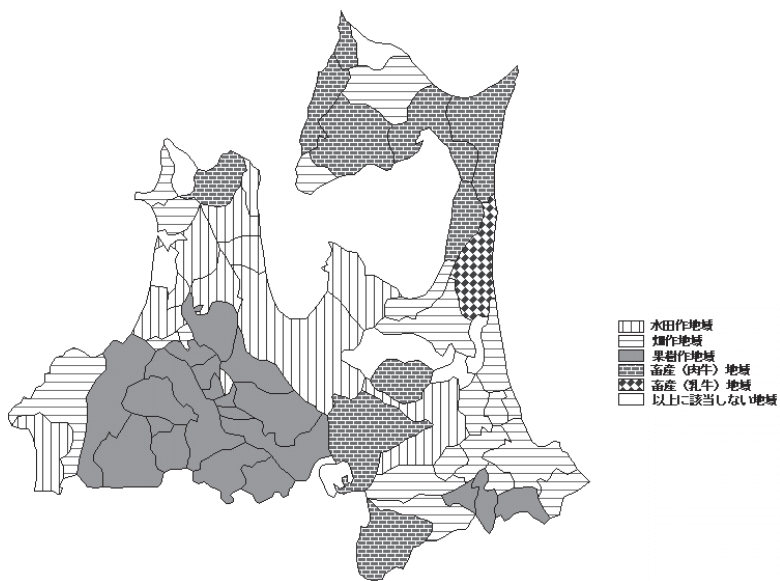


図1 青森県の地域区分（2010年）

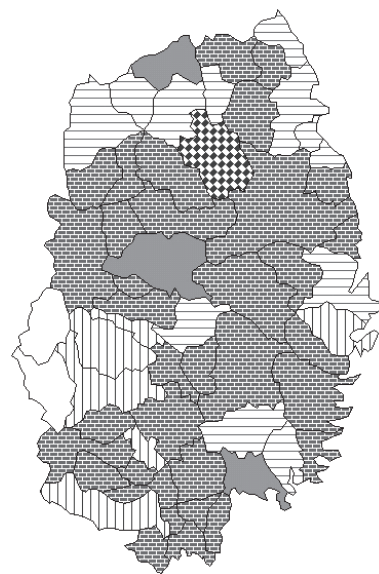


図2 岩手県の地域区分（2010年）

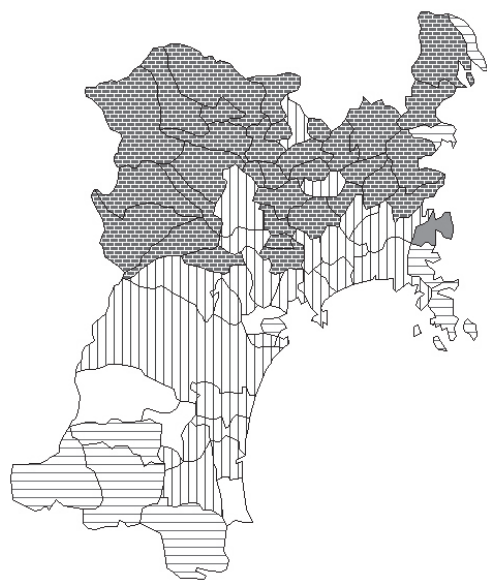


図3 宮城県の地域区分（2010年）

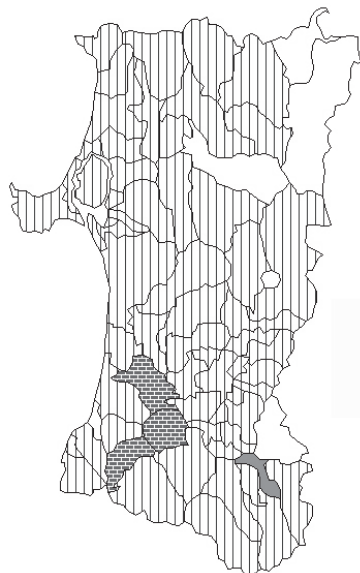


図4 秋田県の地域区分（2010年）

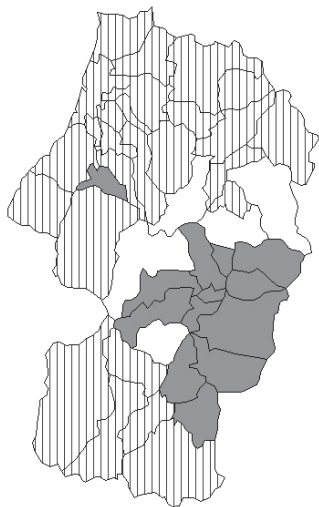


図5 山形県の地域区分（2010年）

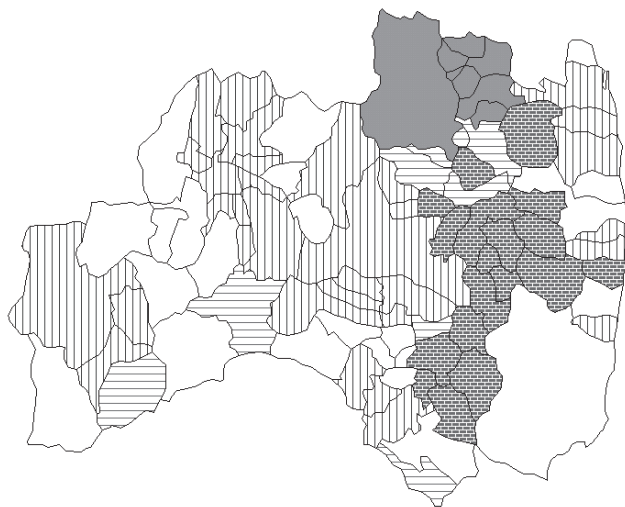


図6 福島県の地域区分（2010年）